



1997. 11. 26

No. 4 4

延享2年 万多羅寺村明細帳 (抄) (1745年)

(史料出所：尼崎市『尼崎市史』第5巻pp. 761-770)

(… 前略 …)

- 一 穀種 1 反ニ付 坊主物 6 升 5 合 当テ
毛物 8 升 当テ 苗代へ風し申 候
- 一 田方苗代作 早稲・中稲・晚稲共八十八夜前日ニ池より揚ケ、八十八夜翌日
苗代へ下し植付、夏至へ入 2 日 目植付仕申候、旬 前ニ植候てハ
稲虫付、旬過 候てハ出来おとり実のり悪敷御座候、秋刈込之
儀早稲方より段々熟次 第刈込候
- 一 稲名 坊主北国 毛北国 善助 順礼坊 関東
中テ 中テ 中テ 中テ 中テ
ほつたい いくつミ ごされ餅 おわり餅 七合
- 右稲名所々にて替り申候、早稲所故木綿作も仕候
- 一 畑方 木綿 大豆 小豆 □ 粟
たはこ 雑事
右木綿植付成り不申土地へ雑穀蒔付仕候
- 一 畑方植付旬
大麦秋土用入候へハ木綿ノ中ニ合蒔仕翌 4 月 熟候ヲ見立刈候
小麦同断
粟種同断
大豆秋過ニ植付、4 月ニ引込申候
秋豆夏至前ニ蒔付、秋引込申候
小豆同断
□ 同断
粟 同断
たはこ同断
木綿八十八夜前後蒔付、秋彼岸ニハ吹出申候

一 畑方種物 1 反ニ付

木綿実 1 貫 6 0 0 目
大麦 1 斗 3 升
小麦 7 升
大豆 1 斗
小豆 1 斗 5 升
粟 3 升
□ 4 升

(… 後略 …)

寛延2年 下坂部村明細帳 (抄) (1749年)

(史料出所：尼崎市『尼崎市史』第5巻pp. 772-775)

- 一 5 2 1 石 6 斗 5 升 5 合 村惣高
- (… 略 …)
- 一 男ハ耕作之間ニは縄ヲなひ 筵 を打申候
- 一 女ハ耕作ノ間ニは木綿布を織申候
- (… 略 …)
- 一 男奉公人給銀 1 5 0 匁位より 2 0 0 匁迄ニ御座候
- 一 女奉公人給銀 5 0 匁位より 8 0 匁迄ニ御座候
- 一 田畑肥之義ハ 1 反ニ付干鰯代銀 4 0 匁位より 5 0 匁迄仕候
- 一 綿作之義ハ 1 反ニ付 6 0 匁位より 8 0 匁迄迄肥仕候
- 一 田方粉種之義ハ 1 反ニ付 5 升宛ニまき申候
- 一 村方百姓一統尼ヶ崎御城下え人力にて下戻日々取ニさんじ申候、但シ道法 1 里余 御座候
- (… 後略 …)

- ◎ 2つの「村明細帳」から、農民の生活、栽培していた作物などを読みとろう。
- ◎ 肥料に使われていたのは何か。
- ◎ 田と畑で栽培されている作物がちがうことに注目しよう。
- ◎ 商品作物として、何が栽培されているか。